



連続撮影する（連写）

動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

MENU/OK ボタンを押して撮影メニューを表示させ、

 **連写** から使用する設定を選びます（ 91）。

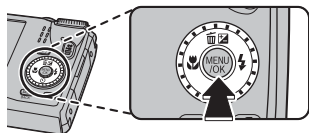
◆ ピントと明るさは、1 コマ目を撮影したときに決定されます。

◆ フラッシュは発光禁止になります。ただし、 **連写** を **OFF** にすると、連写を設定する前のフラッシュ設定に戻ります。


◆ 連写速度は、シャッタースピードによって異なります。

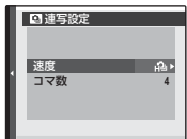
◆ 撮影できる画像の枚数は、内蔵メモリーやメモリーカードの空き容量によって異なります。

◆ カメラの設定や撮影シーンによっては、連写枚数が少なくなることがあります。





連写


1 連写撮影画面で、 を押して連写設定画面を表示させます。





2 速度を選び、 を押します。

3   で連写速度を選びます。

4 **MENU/OK** ボタンを押して、連写設定画面に戻ります。

5 コマ数を選び、 を押します。

6   でコマ数を選びます。

7 **MENU/OK** ボタンを押して、連写設定画面に戻ります。

8 **DISP/BACK** ボタンを押して、連写撮影画面に戻ります。

9 撮影します。

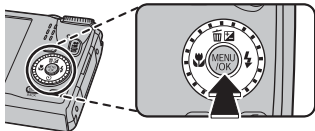
シャッターボタンを押している間、設定した連写速度とコマ数の連続撮影を行います。

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

撮影時に使う機能を設定できます。

撮影メニューの使い方

- 1 撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。



- 2 変更する項目を選び、設定を変更します。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押します。
変更した内容に設定されます。
- 4 **DISP/BACK** ボタンを押します。
撮影画面に戻ります。

◆ メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

撮影メニュー一覧

EXR モード (工場出荷時: **EXR**)

モードダイヤルが **EXR** のとき、にシーンに合った **EXR** モードを設定できます (頁29)。

Adv. モード (工場出荷時: **Adv.**)

モードダイヤルが **Adv.** のときに、高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます (頁31)。

シーン選択 (工場出荷時: **SP**)

モードダイヤルが **SP** のときに、好きなシーンポジションを選んで、モードダイヤルに割り当てることができます (頁35)。



ISO 感度 (工場出荷時: **AUTO**)

光に対する感度を変更できます (頁88)。

 **連写** (工場出荷時：OFF)

動いている被写体などを連続して撮影できます (p49)。

F550EXR 設定：/////OFF

F500EXR 設定：//OFF

 **インテリジェントブレ防止 (F550EXR のみ)** (工場出荷時：OFF)

ON にすると、プレミアム **EXR** オート時にインテリジェントブレ防止が有効になります (p24)。




設定：**ON/OFF**

 **顔キレイナビ**

顔にピントと明るさを合わせて、人物を明るく目立つように撮影できます (p48)。

 **測光** (工場出荷時：)

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

設定	説明
 マルチ	シーン自動認識により、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。
 スポット	画面中央部の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。測光したい被写体を画面中央に配置して撮影してください。
 アベレージ	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

◆  **顔キレイナビ**が **ON** のときは設定できません。